

平成25年度  
「地域公共政策士」育成のための資格教育プログラム  
に係る自己点検評価書 基礎データ  
(第2種プログラム用)

機関名 京都産業大学法学研究科

プログラム名 法政策・地域公共プログラム

平成25年7月

## I 教育内容・方法等

## 1 プログラムの概要 (表1)

プログラム名	学習アウトカム (プログラムを通して達成される学習アウトカムを別表より選択した上で、各プログラムの目的や教育目標に照らし合わせ記述ください)	
	法政策・地域公共プログラム	到達目標
	知識	7-1-3、4「様々な理論・政策・情報を組み合わせた客観的分析と評価による既存の概念の修正に関する理解」「持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成に関する理解」
	技能	7-2-1、4「地域における複雑な課題群の一般化とそれに対する普遍的な解決策の提示」「対象となる政策・事業に関する中長期的な社会的意義の評価」
	職務遂行能力	7-3-1、3「地域社会における政策提言及びプログラム運用への企画・調整・主導」「課題解決のために必要な社会的資源を必要に応じて再構成」

構成科目名	担当者名	開講期間 (前期、後期、通年のいずれかを ご記入ください)	ポイント数	プログラム内における構成科目の位置づけ
法政策臨床研究	足立幸男	前期	2	公共政策学の基礎理論を学び、分析視点と思考法を習得する。
政治機構論特殊演習	中谷真憲	後期	2	政治体制や政治文化と公共政策との関連について分析する能力を身につける。
公共政策論特論A	焦従勉	前期	2	公共政策の立案の理論と技法を、事例研究と討論を通じて身につける。
公共政策論特論B	焦従勉	後期	2	政策評価についての理論と技法を、事例研究と討論を通じて身につける。
公共政策論特殊演習	足立幸男	前期	2	政策研究と政策分析が公共政策の質的向上に寄与する方法を理解し、修得する。
地域公共論特論A	足立幸男	前期	2	地域社会が直面する諸問題の解決に資する知識・スキル・資質を修得する。
地域公共論特論B	中谷真憲	後期	2	外部講師を招きつつ、新しい公共時代の各アクターの役割を考察し理解する。
公共政策ワークショップ	中谷真憲	前期	2	政策実践の事例分析を通じて、フィールド調査に必要な方法と倫理を理解する。
社会保障政策特殊演習	芝田文男	前期	2	社会保障政策についての政策分析、立案・評価、改善提言の書き方を修得する。
政治過程論特殊演習	中井歩	前期	2	政治過程についての理論研究と事例研究をつなぐ専門的知識を理解・修得する。
日本政治史特殊演習	溝部英章	後期	2	日本政治の特質を探究することで歴史的センスに基づく説得力を身につける。
行政法特殊演習	太田照美	前期	2	具体的な重要事例から、行政法の理論と判例について深い理解を身につける。